

(2) 京町家作事組の取組

京町家作事組は1999年に設立された、伝統構法で京町家の改修・修繕に携わる設計者・施工者が集まる技術者団体です。京町家の改修に関わる「技術の継承」と「若手の育成」をモットーに、これまで約300軒の改修を手がけてきました。便宜的なリノベーションで貴重な資産価値を失うことなく、伝統構法で改修することで一つ一つの町家を守り続けるお手伝いをされています。以下、主な取り組みです。

- ・伝統構法による京町家の改修

改修後の用途は居住用が7割、事業用が3割程度で、改修内容は、生活の質を上げる水回りの改修相談、町家の傾きを直す等の構造改修、外観の復元の相談を多く受けています。改修後も、何かあれば気軽に相談していただけるお出入りの関係をつくるため、1年検査・3年確認の機会を設けています。

- ・京町家の建築文化を体感していただき継承につなげるため、改修現場見学会や体験イベントなどの開催

- ・京町家の技術的研究や文化的研究に携わる研究者・大学との共働

ア 京町家の改修工事

図表 3-0-6-2 京町家の改修工事

伏見〇邸 居住用 2022年竣工

外観の改修

(前)



(後)



トオリニワの改修

(前)



(後)



厨子2階の改修

(前)



(後)



明治期の伏見の町家である。下屋の葺き替え、樋の塩じを銅樋に、外壁の塗り替え、アルミ建具の木製化、ベンガラ塗によって、築造時の外観に再生した。内装では、トオリニワに増設された部屋の撤去、2階の厨子と木置(きおき)を居室化、水回り棟の改修を行った。